

# 事務事業評価表

事務事業名	建築業務	計画コード	0501
所属名(部・課・担当)	建設部 建築課	担当名	審査担当 住宅担当 開発指導担当
基本目標	快適で暮らしやすいまち【都市基盤】		
基本施策	快適な住宅地の整備		
施策	5	安心して暮らせるまちづくりの推進	
取組内容番号			

## 1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	和光市まちづくり条例 都市計画法 建築基準法
対象	和光市内の開発行為、和光市内の建築物等、分譲マンションの所有者		
意図・目的	秩序ある開発と良質な宅地水準の確保、安全で法に適合した状態の確保、分譲マンションを適正に維持管理できるようサポートする。		
活動概要	都市計画法等に基づく相談・調査・審査・検査・指導等を行う。建築基準法等に基づく相談・調査・審査・検査・指導等を行う。マンション管理問題意見交換会・マンション管理問題無料個別相談を行う。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者: ) <input type="checkbox"/> 補助金 (補助先: ) <input type="checkbox"/> その他 ( )		

## 2. 事業の実績

	指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度		達成度 (%)	備考
			実績値	実績値	実績値	実績値	見込値	目標値						
定量的評価	活動実績	当初設定指標												
		意見書提出/開発行為等件数	%	11.0	6.0	5.0	6.0	6.0	83.3					
		あっせんの申出/開発行為等件数	%	5.0	0.0	21.0	0.0	0.0						
	まちづくり条例に基づく完了検査率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0						
定性的評価	事業費	追加指標												
		予算額	千円	940	842	930	1,037	備考						
		決算額	千円	689	645	686	-							
		財源内訳												
	(一般財源)	千円	0	0	0	205								
	(特定財源)	千円	689	645	686	832								
	人件費													
職員数(正規/非常勤)	人	11.0	0.0	10.0	0.0	4.0	0.0	4.0	0.0					
職員分	千円	67,100	61,000	24,400	24,400									
非常勤分	千円	0	0	0	0									
総事業費(事業費+人件費)	千円	67,789	61,645	25,086	25,437									
定性的評価	活動の成果	開発行為等を行う者に対し条例で近隣住民等への周知や説明を義務付けており、また理解を得よう努めることを指導したが、「あっせんの申出」の件数が増加した。												

### 3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	B	B
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

### 4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	紛争調整制度の充実により、紛争を未然に防止することができている。しかし、開発行為等による近隣住民等の要望は様々であり今後も行政の関わりが必要である。
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

### 5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止) 開発行為を行う者と近隣住民等との紛争問題は立地場所等の条件により様々であり(民事的なことが多いが)行政の関わり方が今後も課題である。また、周知方法も継続していくことが必要である。
--------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容(改善内容)	紛争調整制度の充実(開発事業者に条例で周知や説明を義務付け)により、紛争を未然に防止するとともに、これまで以上に行政の関わりが必要となる。

# 事務事業評価表

事務事業名	地区まちづくり推進	計画コード	0502
所属名(部・課・担当)	建設部 都市整備課	担当名	計画担当
基本目標	快適で暮らしやすいまち【都市基盤】		
基本施策	快適な住宅地の整備		
施策	5	安心して暮らせるまちづくりの推進	
取組内容番号			

## 1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	
対象	地区住民等		
意図・目的	地区住民等による地区の土地利用に関するまちづくりの推進を図る。		
活動概要	地区まちづくり協議会に対して活動の支援を行う。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者: ) <input type="checkbox"/> 補助金 (補助先: ) <input type="checkbox"/> その他 ( )		

## 2. 事業の実績

	指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度		達成度 (%)	備考	
			実績値	実績値	実績値	見込値	目標値								
定量的評価	活動実績	当初設定指標	地区まちづくり協議会アドバイザー派遣回数	回	0.0	0.0					1.0	0.0			
		追加指標													
	事業費	予算額		千円	8	8	8	8	備考						
		決算額		千円	0	0	0	-							
財源内訳		(一般財源)	千円	0	0	0	8								
		(特定財源)	千円	0	0	0	0								
人件費		職員数(正規/非常勤)		人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	職員分		千円	0	0	0	0								
	非常勤分		千円	0	0	0	0								
総事業費(事業費+人件費)		千円	0	0	0	8									
定性的評価	活動の成果														

### 3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

### 4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	和光市まちづくり条例第7条・第8条に定められたもので、まちづくりを推進しようとする団体に対し支援をするものであるが、利用者はまだ出ていない。
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

### 5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止) 当市では、土地区画整理事業や地区計画などを定めていることから、この制度を利用する団体は少ないが、制度は廃止できない。
--------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容(改善内容)	まちづくり条例でも定めているが、地区まちづくり協議会に対する支援は必要と考える。

# 事務事業評価表

事務事業名	指定道路調書作成	計画コード	0503
所属名(部・課・担当)	建設部 建築課	担当名	審査担当
基本目標	快適で暮らしやすいまち【都市基盤】		
基本施策	快適な住宅地の整備		
施策	5	安心して暮らせるまちづくりの推進	
取組内容番号			

## 1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	建築基準法施行規則、緊急雇用創出事業
対象	建物等を建てようと計画している市民		
意図・目的	和光市が保有する指定道路に関わる図書の電子化を行い業務の効率化を図るとともに建築基準法施行規則改正に適合する図書を作成することを目的とする。又離職を余儀なくされた労働者その他の失業者の一時的な雇用機会の創出等を図ると共に業務を通し技術向上を図ることを目的とする。		
活動概要	市内全域の路線について指定道路図の作成及び市道についての指定道路調書を作成する。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者: ) <input type="checkbox"/> 補助金 (補助先: ) <input type="checkbox"/> その他 ( )		

## 2. 事業の実績

	指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度	達成度 (%)	備考
			実績値	実績値	実績値	見込値	目標値						
定量的評価	活動実績	当初設定指標											
		追加指標											
	事業費	予算額	千円	0	0	4,000	0	備考					
		決算額	千円	0	0	3,759	-						
		財源内訳	(一般財源)	千円	0	0	0	0					
(特定財源)			千円	0	0	3,759	0						
人件費	職員数(正規/非常勤)	人	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0			
	職員分	千円	0	0	12,200	0							
	非常勤分	千円	0	0	0	0							
	総事業費(事業費+人件費)	千円	0	0	15,959	0							
定性的評価	活動の成果	和光市が保有する指定道路に関わる図書を電子化することができた。今後周知を図りHP等で確認できるようにすることにより窓口対応が減少し業務の効率化がはかれる、利用者は窓口に来なくても確認できるようになりサービスの向上につながる。又4人の失業者の一時的な雇用機会の創出が図れた。											

### 3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

### 4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	市内の道路の状況は区画整理事業等もあり刻々と変わっているため、定期的な見直し作業が必要である。また、公道以外の私道の扱いについては地権者等の権利が絡むので慎重に公表すべきである。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

### 5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
事業の方向性	課内で運用を行い周知していくことにより事務の効率化、市民サービスの向上につながる。道路等の築造状況に応じて定期的な見直しが必要となる。

### 6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容(改善内容)	今後は今回の事業の成果を利用者へのサービス向上に役立てていく。

# 事務事業評価表

事務事業名	既存住宅耐震診断・改修助成	計画コード	0504
所属名(部・課・担当)	建設部 建築課	担当名	審査担当
基本目標	快適で暮らしやすいまち【都市基盤】		
基本施策	快適な住宅地の整備		
施策	5	安心して暮らせるまちづくりの推進	
取組内容番号			

## 1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	和光市既存住宅耐震診断・改修助成要綱
対象	建築確認を取得して昭和56年5月31日以前に着工された自ら居住する戸建又は、分譲集合住宅を所有する市民。		
意図・目的	耐震性の低い住宅の耐震化を促進し、地震の際の住宅の倒壊による直接的被害、他の建物への被害及び避難路・輸送路の閉塞等の二次的被害の軽減を図る。		
活動概要	耐震診断・改修助成を受けようとする者の申請に基づき、適合条件を審査の上適合者を決定し、適合者が適正な耐震診断・改修を受けた費用の一部を助成する。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者: ) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 (補助先: 要綱に基づく耐震診断・改修を行った住宅の所有者。) <input type="checkbox"/> その他 ( )		

## 2. 事業の実績

	指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度		達成度 (%)	備考
			実績値	実績値	実績値	実績値	見込値	目標値						
定量的評価	活動実績	当初設定指標												
		追加指標												
	費用	予算額	千円	950		2,950		2,000		4,750		備考		
		決算額	千円	750		2,789		1,766		-				
財源内訳		(一般財源)	千円	565		1,669		1,297		3,310				
		(特定財源)	千円	185		1,120		469		1,440				
人件費		職員数(正規/非常勤)	人	2.0	0.0	2.0	0.0	2.0	0.0	2.0	0.0			
		職員分	千円	12,200		12,200		12,200		12,200				
	非常勤分	千円	0		0		0		0					
	総事業費(事業費+人件費)	千円	12,950		14,989		13,966		16,950					
定性的評価	活動の成果	東日本大震災をうけ、耐震診断・改修への関心が高まり相談が大幅に増加した。広報に加え、無料耐震診断(相談)等啓発を図り、住宅等既存建築物の耐震診断・改修を促進し、耐震性の低い建物の耐震性を向上させた。												

### 3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	B	B
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

### 4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	相談件数の増加に努め、事業目的の達成を図りたい。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

### 5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
事業の方向性	国、県の施策の動向や社会情勢に合わせた事業を展開しながら、耐震性の低い住宅の耐震化を達成する。広報紙や無料耐震診断(相談)等で事業の周知を図っているが十分な認知にまでは至っていない。また、耐震診断・改修は自己負担額が高額となるため、事業促進を図るには事業費(助成額)の追加(拡大)も今後検討していく必要がある。

### 6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容(改善内容)	緊急輸送道路沿道等の住宅に対する助成の拡大等により、市内の住宅の耐震化の促進に努める。



# 事務事業評価表

事務事業名	交通安全対策	計画コード	0701
所属名(部・課・担当)	建設部 道路安全課	担当名	交通安全
基本目標	快適で暮らしやすいまち【都市基盤】		
基本施策	安全で快適な道路環境の整備		
施策	7	交通安全対策の推進	
取組内容番号			

## 1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	和光市交通安全活動事業補助金交付要綱
対象	一般市民、交通安全対策事業推進団体		
意図・目的	機関・団体が連携を図り、交通安全意識の高揚と市内における交通事故の撲滅を目指す。		
活動概要	各季節ごとに行われる交通安全運動を効果的に展開し、市民総ぐるみで交通安全対策を推進する。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者: ) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 (補助先: 朝霞地区交通安全協会及び和光支部・和光市交通安全母の会 ) <input type="checkbox"/> その他 ( )		

## 2. 事業の実績

	指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度 目標値	達成度 (%)	備考	
			実績値	実績値	実績値	実績値	見込値	見込値						
定量的評価	活動実績	当初設定指標	交通安全運動	回	4.0	3.0	2.0	4.0	4.0	4.0	50.0			
			人身事故件数	件	340.0	357.0	407.0	350.0	300.0	73.7				
			交通安全対策事業推進団体人数	人	101.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0				
		追加指標												
	費用	事業費	予算額		千円	30,953	31,719	32,715	35,574	備考				
			決算額		千円	30,623	31,294	28,497	-					
			財源内訳	(一般財源)		千円	30,623	31,294	28,497	35,574				
				(特定財源)		千円	0	0	0	0				
		人件費	職員数(正規/非常勤)		人	0.5	0.0	0.5	0.0	0.5	0.0			
			職員分		千円	3,050	3,050	3,050	3,050					
非常勤分			千円	0	0	0	0							
	総事業費(事業費+人件費)		千円	33,673	34,344	31,547	38,624							
定性的評価	活動の成果	交通安全運動が悪天候により予定回数の半分しか実施できなかった。 平成23年度は、和光市だけでなく県内全域において交通事故件数が多く全国ワースト3位になってしまった。												

### 3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	B	B
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

### 4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	平成23年度は、和光市の交通事故件数が増加してしまいましたが、過去の実績を見ると事故件数は減少傾向にあり、全国的にも同様であるので、引き続き交通安全対策を継続していく。
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

### 5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
事業の方向性	現在、自転車の安全対策が問題となっているが、利用者の安全意識の向上が重要であり、市民団体と協働した啓発活動は、継続して実施していく必要がある。

### 6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容(改善内容)	警察や交通安全団体と連携し、効果的な啓発活動を実施していく。

# 事務事業評価表

事務事業名	交通安全施設整備	計画コード	0702
所属名(部・課・担当)	建設部 道路安全課	担当名	交通安全
基本目標	快適で暮らしやすいまち【都市基盤】		
基本施策	安全で快適な道路環境の整備		
施策	7	交通安全対策の推進	
取組内容番号			

## 1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	道路法等
対象	一般市民		
意図・目的	道路利用者の安全対策を図る。		
活動概要	道路交通に付随する交通安全施設(路面表示・道路反射鏡等)を整備することにより、交通事故を防止する。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者: ) <input type="checkbox"/> 補助金 (補助先: ) <input type="checkbox"/> その他 ( )		

## 2. 事業の実績

	指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度 目標値	達成度 (%)	備考
			実績値	実績値	実績値	実績値	見込値	見込値					
定量的評価	活動実績	当初設定指標	路面標示の施工延長	m	5,481.0	6,027.0	6,804.2	6,500.0	7,000.0	97.2			
			道路反射鏡の設置及び修繕	基	71.0	35.0	42.0	40.0	40.0	105.0			
			人身事故件数	件	340.0	357.0	407.0	350.0	300.0	73.7			
		追加指標											
	費用	事業費	予算額		千円	11,974	9,041	18,921	18,919	備考			
			決算額		千円	13,288	8,672	18,538	-				
財源内訳			(一般財源)	千円	13,288	8,672	18,538	18,919					
			(特定財源)	千円	0	0	0	0					
人件費		職員数(正規/非常勤)		人	0.5	0.0	0.5	0.0	0.5	0.0			
		職員分		千円	3,050	3,050	3,050	3,050					
	非常勤分		千円	0	0	0	0						
総事業費(事業費+人件費)		千円	16,338	11,722	21,588	21,969							
定性的評価	活動の成果	道路照明灯、反射鏡による視界の確保、路面標示による注意喚起で事故防止に貢献している。											

### 3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

### 4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	新設を進めることにより、既設の維持管理もしなければならない関係からも、このまま継続する事が望ましい。		
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続	<input type="checkbox"/> 改善して継続	<input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

### 5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続	<input type="checkbox"/> 改善して継続	<input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	道路の視認性の向上、危険箇所の注意喚起など、安全性の向上のため、継続する必要がある。		

### 6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続	<input type="checkbox"/> 改善して継続	<input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容 (改善内容)	効果的な交通安全施設の設置を進めていく。		

# 事務事業評価表

事務事業名	駅南口自転車駐車場管理運営	計画コード	0703
所属名(部・課・担当)	建設部 道路安全課	担当名	交通安全
基本目標	快適で暮らしやすいまち【都市基盤】		
基本施策	安全で快適な道路環境の整備		
施策	7	交通安全対策の推進	
取組内容番号			

## 1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	
対象	一般市民		
意図・目的	自転車駐車場利用者が安全で快適に利用できるよう管理・運営に努める。		
活動概要	駅に隣接した自転車駐車場であり、利用しやすいよう管理・運営に努めた。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者: ) <input type="checkbox"/> 補助金 (補助先: ) <input type="checkbox"/> その他 ( )		

## 2. 事業の実績

	指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度 目標値	達成度 (%)	備考
			実績値	実績値	実績値	実績値	見込値	見込値					
定量的評価	活動実績	当初設定指標											
		自転車駐車場利用者数	台	176,143.0	211,467.0	220,500.0	216,000.0	216,000.0	102.1				
		自転車駐車場使用料	千円	76,512.0	80,045.0	83,272.2	81,712.0	81,712.0	101.9				
	自転車駐車場稼働率	%	87.0	96.0	100.0	98.0	98.0	102.0					
	追加指標												
	費用	事業費	予算額	千円	43,886	47,320	47,797	48,456	備考				
		決算額	千円	42,677	46,255	41,390	-						
	財源内訳	(一般財源)	千円	0	0	13	659						
		(特定財源)	千円	42,677	46,255	41,377	47,797						
	人件費	職員数(正規/非常勤)	人	0.5	0.0	0.5	0.0	0.5	0.0				
		職員分	千円	3,050	3,050	3,050	3,050						
		非常勤分	千円	0	0	0	0						
	総事業費(事業費+人件費)		千円	45,727	49,305	44,440	51,506						
定性的評価	活動の成果	東日本大震災の影響で自転車利用者が増加したことにより、自転車収容台数に達する状態であるので、新たな自転車駐車場整備が急務となっている。											

### 3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

### 4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	駅周辺の放置自転車等が減少している反面、東日本大震災の影響により自転車駐車場の収容台数が限界に達しており、新たな施設の整備が必要となった。
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

### 5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止) 自転車の収容台数が、不足する状況となっていることから、駅北口区画整理事業にあわせ、自転車駐車場の整備が必要である。
--------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容(改善内容)	地下自転車駐車場の満車時には、他の駐輪場へ誘導するなど、適切な対応により、自転車の放置防止に努める。

# 事務事業評価表

事務事業名	駅南口自転車駐車場施設整備	計画コード	0704
所属名(部・課・担当)	建設部 道路安全課	担当名	交通安全
基本目標	快適で暮らしやすいまち【都市基盤】		
基本施策	安全で快適な道路環境の整備		
施策	7	交通安全対策の推進	
取組内容番号			

## 1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	
対象	一般市民		
意図・目的	自転車駐車場利用者が安全で快適に利用できるよう施設整備に努める。		
活動概要	施設の機器修繕作業。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者: ) <input type="checkbox"/> 補助金 (補助先: ) <input type="checkbox"/> その他 ( )		

## 2. 事業の実績

		指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度 目標値	達成度 (%)	備考	
				実績値	実績値	実績値	実績値	見込値	見込値						
定量的評価	活動実績	当初設定指標	自転車駐車場利用者数	台	176,143.0	211,467.0	230,196.0	216,000.0	216,000.0	106.6					
			自転車駐車場稼働率	%	87.0	96.0	100.0	98.0	98.0	102.0					
			放置自転車撤去台数	台	1,848.0	1,712.0	1,359.0	1,500.0	1,500.0	110.4					
		追加指標													
	費用	事業費	予算額		千円	2,100	0	12,600	16,800	備考					
			決算額		千円	2,054	0	12,500	-						
			財源内訳	(一般財源)		千円	0	0	0	0					
				(特定財源)		千円	2,054	0	12,500	16,800					
		人件費	職員数(正規/非常勤)		人	0.5	0.0	0.5	0.0	0.5	0.0				
			職員分		千円	3,050	3,050	3,050	3,050						
非常勤分			千円	0	0	0	0								
	総事業費(事業費+人件費)		千円	5,104	3,050	15,550	19,850								
定性的評価	活動の成果	施設設置から16年を経過しており、修繕作業が増加傾向であるが施設管理に瑕疵が生じないような管理運営に努める。													

### 3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

### 4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	自転車駐車場設置から16年が経過していることと、東日本大震災の影響による自転車利用者が増加し、施設稼働率が100%となったことからラック等の機器の不調が多発しており、今後は修繕料の増加が予想される。		
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)		

### 5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)		
	自転車ラックの可動部分等の老朽化は、事故の原因となることから、継続して修繕を進める必要がある。		

### 6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)		
取組内容(改善内容)	継続して、老朽化したラックの交換を進める。		



# 事務事業評価表

事務事業名	放置自転車対策	計画コード	0705
所属名(部・課・担当)	建設部 道路安全課	担当名	交通安全
基本目標	快適で暮らしやすいまち【都市基盤】		
基本施策	安全で快適な道路環境の整備		
施策	7	交通安全対策の推進	
取組内容番号			

## 1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	和光市自転車等の放置防止に関する条例
対象	一般市民		
意図・目的	放置禁止区域の公共空間を保持し、また環境美化を促進する。		
活動概要	放置禁止区域において月5回程度の放置自転車等の撤去を行う。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者: 都市環境整備株) <input type="checkbox"/> 補助金 (補助先: <input type="checkbox"/> その他 (		

## 2. 事業の実績

	指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度		達成度 (%)	備考
			実績値	実績値	実績値	実績値	見込値	目標値						
定量的評価	活動実績	当初設定指標	撤去の回数	回	60.0	59.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	100.0		
			撤去した台数	台	1,848.0	1,712.0	1,359.0	1,350.0	1,500.0	110.4				
			返還台数	台	1,205.0	1,158.0	864.0	860.0	1,100.0	78.5				
		追加指標												
	費用	事業費	予算額		千円	55,200	19,111	16,968	16,999	備考				
			決算額		千円	54,962	18,749	16,544	-					
		財源内訳	(一般財源)		千円	54,962	18,749	16,544	16,999					
			(特定財源)		千円	0	0	0	0					
		人件費	職員数(正規/非常勤)		人	0.5	0.0	0.5	0.0	0.5	0.0			
			職員分		千円	3,050	3,050	3,050	3,050					
非常勤分			千円	0	0	0	0							
	総事業費(事業費+人件費)		千円	58,012	21,799	19,594	20,049							
定性的評価	活動の成果	放置自転車等の撤去作業を続けることで、年々放置自転車等の台数を減少させることができた。												

### 3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効果的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

### 4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	放置禁止区域における撤去作業については、現状を継続することで効果が見込める。また付随して自転車駐車場の整備などを進める必要がある。
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

### 5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止) 平日の放置禁止区域における撤去台数は減少しているため、効果的な撤去方法等を検討しながら継続する。
--------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容(改善内容)	放置自転車の撤去台数は減少しているため、撤去作業は継続し、より効果的、経済的な撤去方法等を検討する。

# 事務事業評価表

事務事業名	浄水場施設改良	計画コード	1101
所属名(部・課・担当)	上下水道部 水道施設課	担当名	水道施設担当
基本目標	快適で暮らしやすいまち【都市基盤】		
基本施策	上・下水道サービスの提供		
施策	11	安全な水の安定供給	
取組内容番号			

## 1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	水道法
対象	水道利用者		
意図・目的	水需要に対応した施設を整備し、安全で安定的な水の供給が行なう。		
活動概要	和光市水道ビジョン・和光市水道事業施設更新計画に基づき、浄水場施設更新工事を行う。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者: ) <input type="checkbox"/> 補助金 (補助先: ) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (浄水場施設更新工事 荏原商事(株)関東支社 )		

## 2. 事業の実績

		指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度		達成度 (%)	備考
				実績値	実績値	実績値	見込値	目標値							
定量的評価	活動実績	和光市水道ビジョン(取水井戸更新)の工事進捗率	%	0.0	0.0	0.0	15.0	100.0	0.0						
		浄水場施設電気料金	千円	35,903.0	35,749.0	37,981.1	41,446.7	35,000.0	108.5						
		薬品購入費	千円	676.0	724.0	638.8	915.0	700.0	91.3						
	追加指標														
的評価	費用	予算額	千円	158,298	68,040	165,213	172,984	備考							
		決算額	千円	148,103	56,469	138,844	-								
		財源内訳	(一般財源)	千円	148,103	56,469	138,844	172,984							
			(特定財源)	千円	0	0	0	0							
	人件費	職員数(正規/非常勤)	人	1.5	0.0	1.5	0.0	1.5	0.0	1.5	0.0				
		職員分	千円	9,150	9,150	9,150	9,150								
		非常勤分	千円	0	0	0	0								
	総事業費(事業費+人件費)	千円	157,253	65,619	147,994	182,134									
定性的評価	活動の成果														

### 3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	[今後の必要性] 行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	[市の関与] 市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	[市民との協働] NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
A できない B 既に協働して実施している C できる			
経済性	[コスト] ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	[方法の良否] ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	[類似事業] 他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
A 統合・連携できない B 統合・連携できる			
有効性	[達成度] 所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

### 4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	水道事業は、地方公共団体が行うことになっている。公共性、公益性、衛生面などから現状のまま継続する。
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

### 5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止) 水道事業は、地方公共団体が行うことになっている。公共性、公益性、衛生面などから現状のまま継続する。
--------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容 (改善内容)	水道事業は、地方公共団体が行うことになっている。公共性、公益性、衛生面などから現状のまま継続する。

# 事務事業評価表

事務事業名	給配水管整備	計画コード	1102
所属名(部・課・担当)	上下水道部 水道施設課	担当名	水道施設担当
基本目標	快適で暮らしやすいまち〔都市基盤〕		
基本施策	上・下水道サービスの提供		
施策	11	安全な水の安定供給	
取組内容番号			

## 1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	水道法
対象	水道利用者		
意図・目的	老朽化した管路や地震動に脆弱な管路を耐震化対応した管路に更新する。		
活動概要	和光市水道ビジョン及び施設更新計画に基づき、老朽化した管路や地震動に脆弱な管路を耐震化対応した管路へ計画的に更新する。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者: ) <input type="checkbox"/> 補助金 (補助先: ) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (配水管布設替え事業 管工事業者)		

## 2. 事業の実績

		指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度		達成度 (%)	備考
				実績値	実績値	実績値	見込値	目標値							
定量的評価	活動実績	当初設定指標	配水管耐震化率	%	41.0	42.0	44.0	45.0	50.0	88.0					
			有収率	%	96.0	97.0	96.6	97.5	98.0	98.6					
			漏水修繕依頼個所数	個所	276.0	303.0	256.0	250.0	250.0	102.4					
		追加指標													
的評価	費用	事業費		予算額	千円	266,490	182,963	192,283	198,711	備考					
				決算額	千円	182,981	140,903	124,568	-						
		財源内訳	(一般財源)		千円	182,981	140,903	124,568	198,711						
			(特定財源)		千円	0	0	0	0						
	人件費	職員数(正規/非常勤)		人	1.5	0.0	1.5	0.0	1.5	0.0					
		職員分		千円	9,150	9,150	9,150	9,150							
		非常勤分		千円	0	0	0	0							
総事業費(事業費+人件費)		千円	192,131	150,053	133,718	207,861									
定性的評価	活動の成果														

### 3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	[今後の必要性] 行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	[市の関与] 市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	[市民との協働] NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	[コスト] ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	[方法の良否] ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	[類似事業] 他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	[達成度] 所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

### 4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	水道事業は、地方公共団体が行うことになっている。施設更新計画に基づき、給配水管の耐震化を実施していく。
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

### 5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	水道事業は、地方公共団体が行うことになっている。施設更新計画に基づき、給配水管の耐震化を実施していく。

### 6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容 (改善内容)	水道事業は、地方公共団体が行うことになっている。施設更新計画に基づき、給配水管の耐震化を実施していく。

# 事務事業評価表

事務事業名	水道料金徴収事務事業	計画コード	1103
所属名(部・課・担当)	上下水道部 水道業務課	担当名	水道業務担当
基本目標	快適で暮らしやすいまち【都市基盤】		
基本施策	上・下水道サービスの提供		
施策	11	安全な水の安定供給	
取組内容番号			

## 1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	
対象	水道利用者		
意図・目的	検針、調定、請求、納入、滞納の一連の徴収事務が安定的、継続的に行なわれているようにする。		
活動概要	平成11年度から開始した委託(開始、中止、検針、データ確認、料金計算、納付書、口座振替、納入、滞納整理)も一連事務を継続し、料金確保、事業運営の安定化を図る。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者: ) <input type="checkbox"/> 補助金 (補助先: ) <input type="checkbox"/> その他 ( )		

## 2. 事業の実績

	指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度		達成度 (%)	備考
			実績値	実績値	実績値	実績値	見込値	目標値						
定量的評価	活動実績	当初設定指標	検針件数	件	220,873.0	222,330.0	223,750.0	225,000.0	225,000.0	240,000.0	93.2			
		追加指標	口座収納割合	%	77.0	76.0	76.0	77.0	78.0	97.4				
		追加指標	収納率	%	98.2	98.3	98.3	98.3	99.0	99.3				
	事業費	予算額		千円	89,675	80,046	81,549	81,995	備考					
		決算額		千円	87,994	78,085	78,744	-						
		財源内訳	(一般財源)	千円	87,994	78,085	78,744	81,995						
(特定財源)			千円	0	0	0	0							
職員数(正規/非常勤)		人	2.0	0.0	2.0	0.0	3.0	0.0	3.0	0.0				
人件費	職員分		千円	12,200	12,200	18,300	18,300							
	非常勤分		千円	0	0	0	0							
	総事業費(事業費+人件費)		千円	100,194	90,285	97,044	100,295							
定性的評価	活動の成果	検針件数、口座収納件数、窓口収納件数、給水停止件数から調定額の増額、収納率の向上、未収水道料金の減を目指す。												

### 3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

### 4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	水道事業は水道料金収入で賄うべき事業であるため、未収金対策は公平性・継続性の観点から進めていかなければい。滞納者への早期対応や粘り強い督促はもとより、未納転出者対策が課題である。
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

### 5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	1次評価のとおり公平性・継続性の観点から、未収金対策においては早期対応や粘り強い督促を今後も継続して行ない、未納者が滞納者になるのを防いでいく必要がある。

### 6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容(改善内容)	水道事業は水道料金収入で賄う事業であるので、未収金対策は公平性・継続性の観点から早期対応や粘り強い督促を今後も継続して行う。



# 事務事業評価表

事務事業名	広報活動	計画コード	1104
所属名(部・課・担当)	上下水道部 水道施設課	担当名	給水担当
基本目標	快適で暮らしやすいまち【都市基盤】		
基本施策	上・下水道サービスの提供		
施策	11	安全な水の安定供給	
取組内容番号			

## 1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	水道法
対象	市民		
意図・目的	我々を取り巻く全ての水が重要であり、大切であることが理解されているようにする。		
活動概要	水道週間などのイベントにおいて、ライフラインとしての水道事業に対する理解を深め、全ての水を大切にするようにPRする。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者: ) <input type="checkbox"/> 補助金 (補助先: ) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (和光市指定上下水道組合と共同開催)		

## 2. 事業の実績

		指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度		達成度 (%)	備考	
				実績値	実績値	実績値	見込値	目標値								
定量的評価	活動実績	当初設定指標	1日1人平均給水量	ℓ/人/日	327.0	325.0	316.0	320.0	307.0	102.9						
			水道週間一般見学者数	人	10.0	10.0	10.0	10.0	50.0	20.0						
			1日最大給水量	m <sup>3</sup> /日	27,940.0	28,610.0	27,520.0	28,000.0	27,000.0	101.9						
		追加指標														
		費用	予算額		千円	179	179	179	179	備考						
	決算額		千円	122	119	120	-									
	財源内訳		(一般財源)		千円	122	119	120	179							
			(特定財源)		千円	0	0	0	0							
	人件費		職員数(正規/非常勤)		人	0.6	0.0	0.6	0.0	0.6	0.0					
			職員分		千円	3,660	3,660	3,660	3,660							
			非常勤分		千円	0	0	0	0							
	総事業費(事業費+人件費)		千円	3,782	3,779	3,780	3,839									
定性的評価	活動の成果															

### 3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	[今後の必要性] 行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	[市の関与] 市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	[市民との協働] NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	C	C
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	[コスト] ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	B	B
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	[方法の良否] ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	[類似事業] 他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	[達成度] 所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

### 4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	貴重な資源である、水の大切さと広報し、水道が安定した安全な水を供給していることをPRして、市民に安心して利用してもらうため、この事業は、より良い方法を検討しながら、継続する。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

### 5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	貴重な資源である、水の大切さと広報し、水道が安定した安全な水を供給していることをPRして、市民に安心して利用してもらうため、この事業は、より良い方法を検討しながら、継続する。

### 6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容(改善内容)	貴重な資源である、水の大切さと広報し、水道が安定した安全な水を供給していることをPRして、市民に安心して利用してもらうため、この事業は、より良い方法を検討しながら、継続する。

# 事務事業評価表

事務事業名	防犯対策業務	計画コード	4901
所属名(部・課・担当)	危機管理室	担当名	危機管理担当
基本目標	安らぎと賑わいある美しいまち【生活・環境・産業】		
基本施策	防災・防犯に取り組むまちづくり		
施策	49	地域と連携した防犯対策の推進	
取組内容番号			

## 1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	和光市防犯灯補助金交付要綱
対象	市内の在住・在勤者		
意図・目的	市内の犯罪発生件数が減少する。市民の防犯意識が向上する。市民が自主的に防犯活動を行う。		
活動概要	防犯パトロール等の活動に積極的に取り組むとともに、防犯灯の設置・修繕に対する補助金を交付する。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者: 有限会社 旭産業 ) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 (補助先: 自治会等 ) <input type="checkbox"/> その他 ( )		

## 2. 事業の実績

	指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度		達成度 (%)	備考	
			実績値	実績値	実績値	実績値	見込値	目標値							
定量的評価	活動実績	当初設定指標	犯罪発生件数	件	1,143.0	1,047.0	1,047.0	1,020.0	1,000.0	104.7					
		追加指標	防犯リーダー認定者数	人	62.0	83.0	115.0	130.0	160.0	71.9					
	事業費	予算額		千円	6,759	7,051	6,671	5,510	備考						
		決算額		千円	5,963	6,344	6,053	-							
		財源内訳	(一般財源)	千円	5,963	5,594	6,053	5,510							
			(特定財源)	千円	0	750	0	0							
		人件費	職員数(正規/非常勤)		人	2.0	1.6	2.0	1.6	2.0	0.0	2.0	0.0		
			職員分		千円	12,200	12,200	12,200	12,200						
	非常勤分		千円	1,600	1,600	0	0								
	総事業費(事業費+人件費)		千円	19,763	20,144	18,253	17,710								
定性的評価	活動の成果	防犯パトロール等の活動に積極的に取り組むことにより市民の防犯意識を高めることができた。また、防犯灯の設置・修繕に対する補助金を交付し、私道の危険箇所が減少した。													

### 3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	B	B
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	B	B
A できない B 既に協働して実施している C できる			
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	B	B
A 統合・連携できない B 統合・連携できる			
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

### 4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	市民の防犯意識を向上させ、自主的な防犯活動を行うことにより、犯罪を減らす。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

### 5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	今後も自主的な防犯活動の継続が市民の防犯意識を向上させ、市内の犯罪件数の減少に寄与する。

### 6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容(改善内容)	防犯灯の設置・修繕に対する補助金については、使用電力が少なく、かつ長期間交換が不要となるLED防犯灯を推奨するスキームを構築する。